

講義題目/Subtitle		公共健康科学演習Ⅱ / Seminar in Public Health Science Ⅱ Code:02240
授業の目標、概要 /Course Objectives/Overview		本演習では公共健康科学の実践・政策などにおいてホットなテーマを取り上げ、科学的根拠に基づく政策提案・議論を行うために必要な科学的情報に対するリテラシー、政策をめぐる倫理・価値観に対する感受性、そして提案を行うためのコミュニケーション技術を習得することを目的とする。具体的には今年度は「たばこ」をめぐる議論を取り上げる。
授業のキーワード/Keywords	和	情報リテラシー、政治倫理、ディベート
	英	information literacy, political ethics, debate and persuasive communication
授業計画/Schedule		<p>4/ 8 (保健社会学担当)</p> <p>1. タバコの医学と疫学</p> <p>2. タバコをめぐる内外の政策</p> <p>4/15 (保健社会学担当)</p> <p>3. ディベートの原則と演習</p> <p>4. プレゼンテーションの技法</p> <p>4/22 (医療倫理学担当)</p> <p>5. 健康政策と政治倫理</p> <p>6. タバコをめぐる倫理問題</p> <p>5/13 (医療倫理学担当)</p> <p>7 & 8. ディベート準備</p> <p>5/20 (保健社会学・医療倫理学共同担当)</p> <p>9. タバコ政策に関するディベート</p> <p>10. まとめ (logic と rhetoric)</p>
授業の方法/Teaching Methods		毎回講義と小演習を行う。前半ではたばこの医学的・疫学的なエビデンスと政策議論の現状について講義を中心に話題提供したうえで、本課題を議論する際に必要な基本的な政治哲学・倫理について具体的な事例についてディスカッションしながら考えてもらう。グループに分かれて、賛成派・反対派それぞれの立場からディベート形式で論争してもらい、その優劣を競ってもらう。
成績評価方法/Grade Evaluation		出席30%、演習内参加・発言30%、ディベートならびにマテリアル作成（グループ評価）40%
教科書/Textbook		特に指定しない
参考書/Reference		必要に応じて関係資料を配布